

子ども喜ぶ 人気メニュー

栄養士 オススメ

『マーマレードチキン』



- 材料（4人分）
- 鶏もも肉120 g
 - コンソメ小さじ1
 - おろししょうが小さじ1
 - マーマレード25 g
 - みりん30 g
 - しょうゆ15 g
 - 料理酒25 g
 - 水適量
 - ミニトマト★8個
 - サラダ菜4枚
 - きゅうり★40 g
- ★奥州市産の食材です

作り方

- 鶏もも肉は一口大に切って、フォークで数箇所刺し、コンソメをまぶす
- Aの調味料をよく混ぜる
- ①と②を鍋に入れ、ひたひたになるまで水を足し、落としぶたをして中火で煮る
- 裏返してさらに煮る
- 落としぶたを外し、上下を返しながらかき混ぜる
- サラダ菜の上に掛けて、ミニトマト、スライスしたきゅうりを飾り完成です

今月のおいしい顔



江刺南保育所のみんな

今ならお得は本当？光回線契約

Q 「電話やインターネットを光回線にしませんか」という電話が何度もあり断っていたのですが、70代の母が「今より安くなる」と聞いて承諾してしまいました。昨日、工事日のお知らせという書面が届いたのですが、今から解約できますか。（市内50代女性）

A 光回線などの電話通信サービスには、クーリング・オフの適用はありません。また、契約書面を交わさない口約束でも契約が成立します。「今より安くなる」「キャンペーン期間中で工事費無料」などと言われますが、工事費が無料になっても、一定期間の継続利用が義務付けられていて、途中で解約すると違約金が発生する場合があります。

また、初期工事費用が分割払いになっていると、途中で解約する場合は工事費用の残額を一括で払うよう求められます。「新たな契約にしたら、回線業者やインターネット接続業者も変更された」「キャンペーンの適用が終わったら料金が高くなる」などの苦情も寄せられています。相談者の場合は工事前であり、交渉の結果、違約金を支払うこと無く解約することができました。「無料」や「お試し」「キャッシュバック」という言葉に惑わされず、説明を十分に聞いて、よくわからない場合にはすぐに契約せず、契約する意思がない場合はきっぱりと断りましょう。

伊藤 佑磨ちゃん（1歳3カ月）
川水沢区字松屋敷II
（真司さん・瑛美さんの長男）

石田 唯夏ちゃん（2歳）
川前沢区字島II
（弘幸さん・麗娜さんの長女）

消費生活相談 Q&A

消費生活相談は各総合支所でいつでも受け付けています。詳しくは広報おうしゅうのお知らせ版「相談窓口」をご覧ください。

また、初期工事費用が分割払いになっていると、途中で解約する場合は工事費用の残額を一括で払うよう求められます。「新たな契約にしたら、回線業者やインターネット接続業者も変更された」「キャンペーンの適用が終わったら料金が高くなる」などの苦情も寄せられています。相談者の場合は工事前であり、交渉の結果、違約金を支払うこと無く解約することができました。「無料」や「お試し」「キャッシュバック」という言葉に惑わされず、説明を十分に聞いて、よくわからない場合にはすぐに契約せず、契約する意思がない場合はきっぱりと断りましょう。

わが家のアイドル

3歳未満のお子さんの写真を募集しています。

住所、氏名（ふりがな）、生年月日、焼き柄、両親の氏名（ふりがな）、電話番号を明記の上、本庁政策企画課広報係へ。応募順に掲載します。



石田 唯夏ちゃん（2歳）
川前沢区字島II
（弘幸さん・麗娜さんの長女）

子育て広場

Child-nurturing plaza

おうしゅう子育てガイド→http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/kosodate/



赤ちゃんは、親などの身近な人たちと一緒に過ごし、愛情に満ちた言葉で語り掛けられることで「自分はとても大切な存在で愛されている」と感じます。愛される喜びは、赤ちゃんの心を豊かに育みます。また、赤ちゃんの成長を見守る大人にとっても、絵本を一緒に楽しむひびきは心が安らぐ時間となります。

市は、これまで絵本と出会う親子ふれあい事業として、乳幼児健診や母親教室、両親学級などの場で、赤ちゃんを育てる教材として紹介し、ふれあいある育児に力を入れてきました。「ブックスタート」で絵本をプレゼントすることで、取り組みはより充実します。

赤ちゃんのころから親子で絵本を開き、家族のコミュニケーションを豊かにすることで、生涯にわたり読書に親しんでいきましょう。



絵本を読んでもらう赤ちゃん

- 開催日・場所 4か月児健診日時・会場と同じ
- 対象 市内に住所がある生後4か月の乳児と保護者
- 問い合わせ 水沢保健センター（☎4511）、各総合支所健康福祉課



9月に入っても暑い日が続いています。朝晩は涼しくなり、秋の気配が感じられるようになりました。皆さんいかがお過ごしですか。

先月、早稲田大学大学院の院生が夏季集中講座のため、当市を訪れました。市内でフィールドワーク（現地調査）を行い、最終日には、研究成果を政策提言の形にして発表するというもので、ことしで3年目となります。

ことしの研究テーマは「市内4つの文化会館の連携による新しい奥州市型文化事業の創設」でした。院生からは、各区で開催されている市民劇に着目し、市民演劇祭、東北演劇祭in奥州の開催による地域活性化の方策を提案いただきました。柔軟な発想に感心したところであり、今回の提言を一つの切り口として、今後の文化振興のあり方を考えていきたいと感じました。

9月2日には、市総合防災訓練を行いました。当市は、合併後に平成20年の岩手・宮城内陸地震、昨年の東日本大震災と二度の震災を経験しました。自然災害はいつ起こるか分かりませんが、発生を食い止めることも困難です。災害を最小限に食い止める減災への取り組みとして、防災訓練は大変重要です。市は、今後も市消防団などの関係機関や地域の皆さんとの協働により、日頃からの訓練や防災意識の啓発に努め、地域の防災力を向上して災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。

先月起きた教員の飲酒運転と中学生のバット殴打事件は、とても残念な話であり、大変心を痛めています。命を大切にする、規律を守ることが、人として当たり前の行為です。二度とこのようなことが起きないように、しっかりと対応していかなければならないと、思いをさらに強くしたところです。

奥州市長 小沢昌記